

団体名:桃山学区防災ミーティング
活動名:地域の連携協力による防災力強化と助け合いの環境づくり

日時:令和3年12月12日(日) 13時30分~16時30分
場所:桃山コミュニティーセンター

◆◆団体の紹介◆◆

大規模地震等の災害時に地域の防災活動が機能し、被害を少なくするための仕組み「助け合いによる防災」を創り、平常時のミーティングや防災訓練の積み重ねで環境を整えていくことを目指しています。

◆◆活動の内容◆◆

今年で3年目になる団体の活動は、防災研修会として一日かけて災害時の学区本部の運営や防災計画について各町内の担当者でもあるメンバーが集まりました。

午前中は今後予定している防災訓練の内容確認、そして午後からは、協力団体である健康危機管理サポーターのメンバーによる「災害時の避難所生活」を題材にした人形劇が開催されました。



避難所生活を改めて考えさせられる内容で、親しみやすい人形劇が場を和ませながらも勉強になる時間でした。次は各自参加者の自己紹介の後、自分の地区の災害時に起こりえる不安材料や近況報告の情報共有をしました。緑消防署の徳重出張所の消防署員から「自主防災活動が果たす役割」についてスライドを交えながら説明を受けます。今回の参加者は町内会ごとに選出されたの防災責任者が大半を占める

為、災害時には自主的に1シェイクアウト、2火の始末、3火の初期消火などの手順を教えてもらい各自が町内で役立てるように勉強しました。

当日の会場は12月という事もあり、少し冷えましたが、窓を対角上で開けたりと万全のコロナ対策をで開催されていました。

今回の活動団体の主体メンバーの事務局から、「桃山学区地域防災計画」と「防災訓練」の話を切り出し、今回の研修は今後の防災計画に基づく一環で、次回行う更に実践的な防災訓練につながることを説明しました。次回の防災訓練は各担当役員だけではなく、全世帯にお知らせし、参加してもらう為にやる意義があるという事も話しました。

参加者30名程と関係者が一丸となり桃山の防災計画を実現に向けて進めるためには、皆さんの協力と理解を得られなければやれない事を、これまで尽力してきた担当者から熱く語られました。

「自助も必要だが、日頃から隣近所と連携する共助がカギとなる」といった地域の防災計画の必要性について、この団体を中心となって運営しているお二人が全ての町内会に個別に会って理解を得るために尽力されています。そのうえで、今後の防災計画も進めるといった地域で一体となって取り組む防災の姿に事務局の苦勞と想いを感じました。

